

平成 30 年 月 日

各市町村ソフトテニス協会長 殿

岩手県ソフトテニス連盟

会 長 新 沼 正 博

第 73 回 岩 手 県 選 手 権 大 会 (一般男子石川恵^{よしのぶ}脩杯)
兼 日本スポーツマスターズ 2018 北海道江別市大会予選会

- 1 主 催 岩手県ソフトテニス連盟
- 2 主 管 北上市ソフトテニス協会
- 3 日 時 平成 30 年 7 月 7 日 (土) (荒天順延)
コート開放 8:00 開会式 8:30
- 4 会 場 北上市 和賀川グリーンパークテニスコート
- 5 種 別 一般男子、一般女子 (一般男子優勝ペアに石川恵脩杯を授与)
男子 35、女子 35 (日本マスターズ大会の予選を兼ねる、ただし前年度国民
体育大会に参加したものは参加できない。)
男子 45、女子 45 (日本マスターズ大会の予選を兼ねる。)
シニア男子 55、シニア女子 55 (日本マスターズ大会の予選を兼ねない。)
シニア男子 60、シニア女子 60 (//)
シニア男子 65、シニア女子 65 (//)
シニア男子 70、シニア女子 70 (//)
シニア男子 75 シニア女子 75 (//)
シニア男子 80 (//)

※シニア 70 以上の部は 3 ペアで成立とする。年齢は平成 29 年 4 月 1 日現在とする。

- 6 参加資格 (1) (公財) 日本ソフトテニス連盟に登録した者。他県との二重登録は認めない。
未登録者は参加料 1.5 倍(日連に準ずる)とする。
(2) 公認審判員の資格を有する者。
(3) 東北総合体育大会、国民体育大会出場を目指す者に適用
出場者は次のいずれかに該当するものとする。
ア 県内に居住地を示す現住所がある者。
イ 県内に勤務している者
ウ ふるさと選手制度の活用
本県の中学校または高等学校を卒業し、県外に居住して県外に勤務地しているものは「ふるさと制度」を利用し「ふるさと登録届」を提出すれば本県から出場することができる。
ア、イが属する都道府県から参加する場合は、平成 30 年 4 月 30 日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、勤務又は通学していること。
昨年度及び一昨年度、他県から国体(都道府県大会及びブロック大会を含む)に選手及び監督として参加した者は参加できない。
ただし、次の場合は参加することができる。
① 平成 26 年度に学校教育法第 1 条に規定する学校を卒業した者

② 結婚及び離婚に係わる者

- 7 試合方法 トーナメント戦、リーグ戦併用
- 8 競技規則 (公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」を適用する。
- 9 参加料 3,000 円
- 10 申込先 〒023-0861 奥州市水沢区星が丘町7-6
岩手県ソフトテニス連盟競技委員長 長谷川一見
Tel 0197-24-4049 Fax 0197-22-5113
- 11 申込期日 平成30年6月1日(金) 必着
- 12 申込方法 ☆申込書に記入し、参加料を添えて現金書留で送付してください。
☆種別ごと、男女別に申込書へ記入してください。
☆締切以降の申込、参加料のない申込、個人での申込(学連は除く)は一切受け付けません。
- 13 その他 (1) 国民体育大会のチーム編成は、一般男子・女子ともにダブルス2ペア・シングルス1名とする。
(2) スポーツマスターズ大会チーム編成は次のABCDEの区分の5ペアによる。
A : 35歳以上の女子1ペア B : 35歳以上の男子1ペア
C : 45歳以上の女子1ペア D : 45歳以上の男子1ペア
E : 混合ペア35歳以上の女子1人と45歳以上の男子1人
(3) 岩手県選抜インドア大会に出場し、東北インドア大会の出場を目指す人は、該当年齢の部に出場すること。特に東北インドア大会の種別においてシニア65は男子のみ、シニア60は女子のみとなっておりますので留意のこと。
(4) 会員証、ワッペン、イエローカードを持参すること。
(5) 選手は背中にゼッケンを付けること。
(6) 県連ホームページ・新聞等に掲載するため、選手の氏名・写真等についての承諾をお願いします。
- 14 日本スポーツマスターズ2018北海道江別市大会混合ペア予選会について
日本スポーツマスターズ2018北海道江別市大会の混合ペア(35歳以上女子1人と45歳以上男子1人)の予選会を平成30年7月8日(日)午前9時より北上市和賀川グリーンパークテニスコートにて行います。
申込みは、平成30年7月7日(土)の大会終了時まで競技委員長 長谷川一見まで申し込みを行ってください。参加料は当日受付時をお願いします。
- 15 石川恵脩杯^{よしのぶ}について
故石川恵脩氏^{よしのぶ}は、下橋中学、盛岡一高、中央大学、電々東京において軟式庭球に優秀な実績を残し、特に昭和42年度天皇杯を獲得した。永い球史において本件出身者の天皇杯チャンピオンは石川恵脩氏^{よしのぶ}だけであり、一関市出身の飯塚哲氏とともにナショナルチームメンバーとしてアジア大会でも活躍された。
この度、瀬川知良元県連盟副理事長兼元普及広報委員長の仲介により、ご遺族から県選手権一般男子優勝ペアに授与し、氏の功績を永く顕彰していただければとの申し出を受け、石川恵脩杯^{よしのぶ}の寄贈を受けたものです。

